

# 宇宙生命哲学

## ことばはじめ

44

北里環境科学センター  
名誉顧問/宇宙生命哲学者

伊藤 俊洋

### ロシア・ウクライナ戦争の本質は何か

ロシアがウクライナに侵攻して、早一カ月半。両者による停戦協議が行われても、メディアの情報には、破壊され続けるウクライナの惨状が増え続けるばかりだ。西側諸国は武器・弾薬をウクライナに提供し、戦争を側面から支援する一方、経済制裁でロシアの戦意を削ぐ作戦に出ている。ウクライナ国民は戦禍に喘ぎ、国内で約650万人が避難生活を送り、国外に約400万人が避難して難民となり、豊かな穀倉地帯は焦土と化しているという。

この戦争で使われている武器弾薬・ミサイル・戦闘機は、全て支援国を含む国民の税金で賄われている。そして、この戦争の陰で甘い汁を吸っている多くの武器商人がいることを忘れてはならない。彼らは、常に地球上に紛争を起し、両陣営に武器弾薬を売りつけ、懐を潤している。決して戦場に出ることは無く、安全なところでぬくぬくと過ごしている。戦争を食い物にする集団で、世の中をきな臭くする方向へ世論を誘導し、戦争がなくなることが望

んでいない。この仕組みを壊さない限り、地球上から戦争は無くならない。

経済制裁を受けたロシアでは、ルーブルの価値は壊滅的に下落しており、国民の生活が長期間にわたって大きな打撃を被るだろう。経済制裁は、ロシアだけでなく、世界の経済に致命的なダメージを与え、世界中の人たちに無差別の被害を及ぼすだろう。さらに、日々目にする情報について、何が事実で何が偽情報かの判別が難しいという問題も、この戦争の持つ重要な一面だと思う。



ウクライナ民話「てぶくろ」エウゲーニー・M・ラチヨフ 絵 うちだりさこ 訳 福音館書店 (1965年) 森の動物たちのおはなし

今回のウクライナ侵攻を機に、世界中の軍事境界線に緊張が走り、我が国でも敵基地攻撃能力を口にしたたり、核兵器を共有して外への攻撃力を高めようと画策する政治家も散見される。戦時下で犠牲になるのは何時も高齢者・女性・子供などを含む弱者である。好戦的な政治家には、この悲劇が目に見えない。現在、地球上で必要なことは、他国の攻撃に対する防衛ではなく防災だと思う。異常気象下での自然災害に対して、人類が一丸となって立向う時である。

戦争で失われた世界の富の殆どは、武器商人(死の商人)と一部の政治家の懐に転がり込み、次の戦争の準備に使われる。戦争をしない素敵な政治家を選ぶのは国民である。国民が、強く平和への意識を持つことが、地上から戦争を無くす第一歩だと思う。地球の平和は、一人一人の人間の日頃の努力にかかっていると思う。